韓国EC「即配」のクーパン、日本撤退　21日サービス停止

#東京 #ネット・IT #小売り・外食

2023/3/10 16:54 [有料会員限定]

注文から最速10分で商品を届ける「クイックコマース（即配）」の普及を目指していた

韓国の電子商取引（EC）最大手のクーパンが日本から撤退する。東京都内の一部で食品や日用品を配送しているが、21日でサービスを停止する。10日、日本での事業を担うクーパンジャパン（東京・目黒）が明らかにした。2021年6月に日本へ進出し、注文から最速10分で商品を届ける「クイックコマース（即配）」の普及を目指していた。

クーパンジャパンは「試験運用の結果、判断した」としている。日本では東京都目黒区や世田谷区などの住宅地への宅配を手がけてきた。高島屋や100円ショップ「ダイソー」とも組み約5000品を扱っている。

クーパンは10年にソウルで創業。自前の物流網を使った宅配で、米アマゾン・ドット・コムが進出する前の韓国で事業を広げた。物流施設を整備するため投資が先行していたが、22年10〜12月期まで2四半期連続で営業黒字を確保した。

【関連記事】

・韓国クーパン、EC「収穫期」に　ロボ活用で物流効率化

・「韓国のAmazon」クーパン、日本でQコマース急成長中

ニュースレター登録